

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2014年6月19日～6月25日)

平成 26 年(2014 年)6 月 27 日

H	E	A	D	L	I	N	E	S
政治 盗聴事件の波紋が更に広がり、下院で内閣信任投票を実施 シコルスキ外相がEU外務理事会に出席 ラホイ・スペイン首相がポーランドを訪問 シコルスキ外相がNATO外相会合に出席 トウスク首相がハンガリーを訪問								【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！ 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出について
経済 ウクライナがポーランド産豚肉禁輸措置を解禁 地方政府は94.1%のEU基金を消化 PAIiZが20の投資プログラムを完了 鉱工業生産は引き続き増加 LOTへの公的支援経営問題に関する欧州委員会の結論 豚肉の輸出が15%低下 自動車産業の見通しが改善 LNGターミナルの開設が遅れる可能性 海外輸入炭のポーランドへの影響 PGNiGがシェールガス試掘を終了 ポーランドは世界13位、欧州5位の魅力的な投資先 PKNオルレンとKGHMは海外進出ポーランド企業の先駆者								
大使館からのお知らせ 日ポ経済セミナー「JAPAN・DAY(7月3日)」開催のお知らせ 教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分) 大使館広報文化センターの開館時間延長について 東日本大震災義捐金受付について 文化行事・大使館関連行事								
在ポーランド日本国大使館 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm								

政	治
内	政

盗聴事件の波紋が更に広がり、下院で内閣信任投票を実施【23日～25日】

23日、同日付プロスト誌は、シコルスキ外相とロストフスキ前副首相兼財務相との会話を含む5件の盗聴記録を新たに公表し、16日以降政界に波紋を広げている盗聴事件がより深刻な事態に発展した。新たに公表された盗聴記録によると、シコルスキ外相は、ポーランド・米国間の同盟関係は何ら価値がない等の発言を行っている。同日、コモロフスキ大統領は、記者会見を行い、違法な盗聴行為によってポーランドは不安定化の脅威にさらされている旨述べた。また同日、トウスク首相は、我々はこれまでにない政治危機に直面しており、組織的な盗聴行為を行っているグループを特定することが最も重要である旨述べた。一方、最大野党

「法と正義」(PiS)のカチンスキ党首は、トウスク政権の総辞職及び任期前倒し総選挙が必要であり、PiSは内閣不信任決議案を提出する旨述べた。

25日、トウスク首相は下院にて盗聴事件に関する報告を行い、違法な盗聴によって明らかになった閣僚を含む政府高官の問題ある態度及び発言等に関し謝罪した上で、今次事件の背景にエネルギー業界(ポーランド・ロシア間のガス接続及び東方諸国との石炭取引)及びウクライナ・欧州情勢がある旨述べた。また、26日からの欧州理事会に政権運営のマンデートを確認した上で出席する必要があるとして、内閣信任投票の実施を要請した。これを受けて、下院は同日夜に内閣信任投票を実施し、賛成237票、反対203票でトウスク政権に対する信任を示した。

外	交
---	---

シコルスキ外相がEU外務理事会に出席【23日】

23日にルクセンブルクにてEU外務理事会が開催され、シコルスキ外相が出席した。今次外務理事会においては、ウクライナを始めとするEUの東方諸国情勢、リビア及びイラクを始めとする中近東諸国情勢を中心に協議が行われた。また、同外務理事会にはクリムキン・ウクライナ外相が参加し、ポロシェンコ・ウクライナ大統領の和平計画に関する説明がなされた。

ラホイ・スペイン首相がポーランドを訪問【23日】

23日、トウスク首相は、グダンスクを訪問中のラホイ・スペイン首相との間で第10回政府間協議を実施し、欧州のエネルギー面における独立、両国間防衛協力及びウクライナ情勢について意見交換した。

トウスク首相がハンガリーを訪問【24日】

24日、トウスク首相はハンガリーを訪問し、V4首脳会合及び国際会議「ヴィシエグラード・グループ～欧州の成長エンジン～」に出席した。トウスク首相は、国際会議において、欧州のエネルギー安全保障の重要性を強調した。

シコルスキ外相がNATO外相会合に出席【24日～25日】

24日～25日、ブリュッセルにてNATO外相会合が開催され、シコルスキ外相及びヴィニド外務次官が出席した。同会合では、本年9月に英ウェールズで開催予定のNATO首脳会合の準備、ウクライナ情勢、任務終了を迎えるアフガニスタンによるISAFミッション等につき協議が行われた。

経	済
経済・財政政策	

ウクライナがポーランド産豚肉禁輸措置を解禁

ウクライナ農業省は、ポドラスキエ県を除くポーランド産豚肉禁輸措置を解禁する旨発表した。今次決定は、10日にキエフで行われた両国の農業大臣間の会談及びそれに続くウクライナ獣医当局のポーランド食肉生産工場訪問の結果を受けてなされたもの。ウクライナは、以前より同様にアフリカ豚コレラ(ASF)が発見されているロシアやベラルーシに対して禁輸措置を取っていなかったことが疑問視されていた。

地方政府は94.1%のEU基金を消化【20日】

ポーランドの地方政府は、5月末の時点で前期(2007年—2013年)多年度予算におけるEU基金の地方運用プログラムから172億ユーロを受領し、この額は予算割当額の94.1%に相当する。県別では、ポモロスキエ県が全プログラムを消化し、続いてウッチキエ県が99%を消化している。前期多年度予算のEU基金は、2015年末までに使用しなければ消失することになっている。

PAIIZが20の投資プログラムを完了【23日】

ポーランド情報・外国投資庁(PAIIZ)は、15.9億ユーロ相当の20の投資プログラムを、2014年

上期に終了した。PAIIZは、これらプログラムの結果、5000人規模の新しい雇用を提供することになっている。PAIIZの所管する投資プログラムは

156あり、総額で30億ユーロに相当するとされている。

マクロ経済動向・統計

鉱工業生産は引き続き増加【18日】

中央統計局(GUS)によれば、5月の鉱工業生産は、前年同月比で4月の同5.4%増より増加率は減少したものの引き続き4.4%増であった。前月

比では4月の同2.3%減より回復した1.7%減。分野別では鉱業部門の減少が大きいものの、建設部門は前年同月比で10%増加している。

ポーランド産業動向

LOTへの公的支援経営問題に関する欧州委員会の結論【20日】

欧州委員会のスポークスマンは、ポーランド航空(LOT)への公的支援に関する審査の結論に関し、時期は確約できないものの、欧州委員会の現在の任期が終了する今年10月末までに出したいと述べた。国有財産省は、できる限り早く欧州委員会の結論を受け取ることが最優先事項であるとしている。LOTは、ポーランド政府より2012年12月に4億ズロチの公的資金援助を受けている。第2回目の支援を2013年8月に受けることを見込んでいたが、同社の財務状況が大幅に改善するまで延期されている。

今年1月にEUからの豚肉輸入停止措置を取ったことから、ベラルーシやカザフスタンも輸入を停止している。専門家は、輸出の停止に伴う国内供給の増加及び価格の低下に伴い、2014年のポーランド国内での豚肉の消費量は一人あたり1kg増加するとみている。

自動車産業の見通しが改善【20日】

Exact Systems社の調査によると、調査対象企業の48%が次の3ヶ月の生産は改善、38%が雇用は改善するとみており、また、33%が新しい工場の開設や新モデルの生産を開始したいとしている。同社は、一年前は欧州市場が縮小しており、ポーランドにおいても厳しいものであったため、厳しい結果であったとしており、また、現在は転換期に来ており、西ヨーロッパからの注文の増加、投資も改善、さらに過去12ヶ月の新車予約や生産実績も増加している、と述べている。

豚肉の輸出が15%低下【20日】

農業食品研究所によれば、ポーランドは、先般のアフリカ豚コレラ熱発生に伴う各国での輸入停止措置ため、豚肉の輸出が15%減少する。ロシアが

エネルギー・環境

LNGターミナルの開設が遅れる可能性【20日】

シフィノウシチェのLNGターミナルの建設の一部を担うPBG社のバルチャーCEOは、LNGターミナルの建設は年内に完了すると述べた。一方、ピエホチンスキ副首相兼経済相がターミナルの開所式を完成から数ヶ月後に行うことを認めていることから、ガスの開通が2015年5~6月より前に行われないと考えられている。フプロスト誌により報じられたPGNiGパラフィアノヴィッチ副社長とノヴァク元運輸大臣の会談においても、2015年秋が現実的なタイミングであることが示唆されている。カタールからのガスの供給元との契約では、2015年1月が最初の供給とされている。

おり、そのうち250万トンがロシアからのものとなっている。これは、昨年同時期に比べ、32%高いものであり平均価格も8%低下し、280ズロチ/トンとなった。一方、第一四半期の石炭価格は、平均288ズロチ/トンとなった。ポーランドの石炭産業に悪影響を与えるという分析がある一方、国内の専門家には輸入炭は国内炭に影響を与えないという意見もあるが、より低い価格交渉の余地を与えることになり、ポーランドの石炭業界は厳しい状況に立たされている。

PGNiGがシェールガス試掘を終了【25日】

PGNiG社は、ポーランド北部のノヴァ・カルチュマ(Nowa Karczma)市でシェールガスの試掘を開始した。今回の掘削は、深度4100メートルのシェール層に含まれる炭化水素を確認するため、今回は、同地域での埋蔵量を確認するための13回目

海外輸入炭のポーランドへの影響【23日】

欧州連合統計局(Euro Stat)によると、ポーランドは2014年初めに360万トンの石炭を輸入して

その他

ポーランドは世界13位、欧州5位の魅力的な投資先【24日】

UNCTADが24日に発表した世界投資報告書において、ポーランドの海外からの投資先として世界13位、欧州5位の魅力的な国であると報告している。ポーランドの優位性として過去10年間での労働生産性の伸びが賃金の伸びに比べ大きいことをその要因に挙げている。世界ランキングでは、中国、米国、インドネシア及びインド等が高い評価を得ている。欧州では、ドイツ、英国、ロシア及びフランスがポーランドの上位となっている。UNCTADは、財政・金融危機2013年に国際的に海外直接投資(FDI)が再び伸び始めたとしている。財政・金融危機以前は2兆ドルあった国際的なFDIは、2012年

には1.3兆ドルまで縮小し、2013年には1.45兆ドルに回復している。

**PKNオルレンとKGHMは海外進出ポーランド企業
の先駆者【24日】**

ソポトで開催された2014年欧州財務会議において、海外を目指す代表的なポーランド企業として、PKNオルレン社とKGHM社が取り上げられた。両社のような先駆者の成功を受け、今後ポーランド企業の海外ビジネス展開が促進されることになると紹介された。オルレン社によるカナダ企業の大規模買収は、総額4.4億カナダドル(約12.5億ズロチ)にまで至っている。

大使館からのお知らせ

日ポ経済セミナー「JAPAN・DAY(7月3日)」開催のお知らせ

ポーランド経済省は、7月3日(木)に日本大使館、JETRO、PAIIIZ等の協力の下、日ポ経済関係に関するセミナーを経済省で開催します。セミナーでは、ポーランド企業の日本市場進出の可能性及び日系企業のポーランドにおける事業環境が2つの大きなテーマとなります。参加は無料ですが、以下のサイトで登録する必要があります。<http://www.mg.gov.pl/node/21004>

教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)

現在、当館ホームページ上(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/kyoukasho26.pdf>)にて、平成26年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

大使館広報文化センターの開館時間延長について

毎週月曜日の開館時間を19時まで延長しています。火曜日から金曜日までは、従来通り9時から17時までご利用いただけます。

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成27年3月31日(火)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

〔開催中〕日本のフレーム写真コンテスト【5月10日(土)～8月31日(日)】

ラッキーマンデー社主催による『日本のフレーム写真コンテスト』が開催中です。また、9月26日からクラクフ市にて日本美術技術博物館 Manggha との共催による『日本の最新技術における専門家フォーラム』が予定されています。

詳細: www.japonskiekadry.pl

〔開催中〕文化ポスター展【6月5日(木)～8月31日(日)】

ワルシャワにて、ワジェンキ宮殿博物館主催で、日本と中国のグラフィックデザイナーによる作品展『文化ポスター展』がオープンエアギャラリーで開催されています。日本からは U.G.サトー氏の作品が展示されています。

開催場所：ワルシャワ、ワジェンキ宮殿博物館，ul. Agrykoli 1

詳細：<http://www.lazienki-krolewskie.pl/en,Cultural-Poster---Jianping-He-and-U.G.-Sato.html>,
<https://www.facebook.com/events/766453450061359/>

【開催中】第18回夏クラクフ・オペラ・フェスティバル【6月6日(金)～7月9日(水)】

クラクフにて、クラクフ歌劇場主催による『第18回夏クラクフ・オペラ・フェスティバル』が開催されます。7月9日18時半からは、歌舞伎役者の中村吉太郎氏による素浄瑠璃と歌舞伎舞踊の公演が行われます。

開催場所：クラクフ歌劇場，ul. Lubicz 48

詳細：<http://www.opera.krakow.pl/en/news/18th-summer-krakow-opera-festival>

【開催中】書道展【6月16日(月)～29日(日)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、第1回ポーランド書道コンクール応募作品の『書道展』を開催中です。

開催場所：ワルシャワ、在ポーランド日本大使館広報文化センター，Al. Ujazdowskie 51

【予定】アニマツリ2014【7月11日(金)～13日(日)】

ワルシャワにて、日本の大衆文化愛好家協会「アニマツリ」主催による日本文化紹介イベント『アニマツリ2014』が開催されます。コスプレの他に、日本の伝統的な音楽や踊り、日本に関する講座、ワークショップ、コンテスト等が予定されています。

開催場所：ワルシャワ，Zespół Szkół nr 55，ul. Gwiazdźista 35

詳細：www.animatsuri.pl

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)

（ご連絡は電子メールでお願いします。）